

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 1 日

事務事業名		県民駅伝競走大会派遣事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020401000074
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	090501
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名	
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興					グループ	スポーツ振興G
	手段名	01	①スポーツをする機会の充実					担当者名	
			財務会計上の位置付け				事業期間		
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	01	02	00	保健体育総務事業		
法令根拠	茨城県民駅伝競走大会実施要項						単年度繰返し (平成9年度~)		
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						↳ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>○茨城県民駅伝競走大会実施要項に基づき、毎年茨城県スポーツ協会が12月に主催する茨城県民駅伝競走大会に参加する。チーム編成は、職域の部、クラブ対抗の部、市町村対抗の部の3部門からなり、桜川市は市町村対抗の部に出場している。選手は中学生、高校生、一般で編成する。選手選考は桜川市陸上クラブを中心に市内中学校及び高等学校体育担当教諭に協力を求め選考会議を開き、直近の大会タイムを参考に選考を行ない、所属校に出場の承諾を得て大会に派遣している。</p> <p>○場所 ひたちなか市：笠松運動公園 ○区間 (6区間、約18.0Km) ○第1区 (中学生男) 第2区 (高校女子) 第3区 (高校男子) 第4区 (中学女子) 第5区 (一般女子：中・高校生可) 第6区 (一般男子)</p> <p>令和6年度は、大会申込締め切り後に、中学生女子の選手から辞退の連絡があったため、大会出場を取り止めた。</p>		<p>○選考会議の開催</p> <p>○在学校、勤務先への派遣依頼</p> <p>○大会参加申込み</p> <p>○行事保険加入</p> <p>○結団式の開催</p> <p>○大会引率</p> <p>○広報誌へ結果の掲載等</p> <p>○講師謝礼の支払い</p>	

②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)				
市民	市内陸上愛好者		人	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)			
				50.00	50.00	50.00	50.00	50.00			
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)		
・スポーツに親しみ、競技力の向上を身につける。		桜川市参加チーム		チーム	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

③ 投入量 (事業費) の推移				05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	17	0	24		
	事業費計 (A)	千円	17	0	24				
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
				07 報償費	10	
				10 需用費	11	
				11 役務費	3	
				合計	0	24

④ 当該年度の実施内容		07年度の事業内容		08年度の事業内容		09年度の事業内容	
※年度ごとに事業内容を記入する		桜川市民から選手を選抜し、県民駅伝競走大会市町村対抗の部に出場する。		桜川市民から選手を選抜し、県民駅伝競走大会市町村対抗の部に出場する。		桜川市民から選手を選抜し、県民駅伝競走大会市町村対抗の部に出場する。	

事務事業名	県民駅伝競走大会派遣事業	事務事業No.	20401000074	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ ・旧岩瀬町で第14回大会（平成9年）から出場、広くスポーツに親しむ機会を与え、心身ともに健全で明朗な市民育成に努めることを目的に参加、合併後も引き続き桜川市として出場している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・今後も様々な選手が参加できるよう継続して欲しいと要望が寄せられている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） 結びついている ・桜川市の代表として参加できることに誇りが持て、選手個々がスポーツに親しみ競技力の向上を身につけるという意図に合致しており、生涯スポーツ社会を実現する手段となっている。
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） 妥当である ・桜川市代表として大会へ派遣する事業であるため、妥当である。
	③ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） 向上余地がない ・この事業を通して好成績を残し生涯スポーツ人口を増やすことが目的であるが、現時点では向上の余地はない。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） 影響有 ・市民同士が一つの目標に向かって連携する事業は他にはなく、意図にあるスポーツに親しみ、競技力の向上を身につける達成手段がなくなる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない ・駅伝大会は本事業以外にない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） 削減余地がない ・陸上クラブへの講師謝礼、選手への食糧費、傷害保険のみであるので削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） 公正・公平である ・市の代表として選手選考され、結果は市に受益をもたらすものであり、特定の受益者はいない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 高校生の選手を確保するのが困難である。今後も選手の人材発掘に努めて好成績を狙い、生涯スポーツ人口を増やしたい。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果    ⑨																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A    A：継続（現状維持）    C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う）    D：2次評価へ提出		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>	
--	--	---	--